経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

（参考資料2）
米国、韓国等における
ハッキングコンテストの概要

平成２３年３月３日
経済産業省
商務情報政策局

1.「ハッカー」の意味

経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

■ Hackerの意味

- 英語：A person who delights in having an intimate understanding of the internal workings of a system, computers and computer networks in particular. The term is often misused in a pejorative context, where ″cracker″ would be the correct term.

（仮訳：システム、コンピュータ、特にコンピュータネットワークの内部動作を細かく 理解することに喜びを見いだしている人。この言葉はしばしば軽蔑の意味として誤った使われ方をすることがある。そういう場合は、クラッカーが正しい言葉である。）

■ Crackerの意味

- 英語：A cracker is an individual who attempts to access computer systems without authorization. These individuals are often malicious, as opposed to hackers, and have many means at their disposal for breaking into a system.

（仮訳：許可なくコンピュータシステムにアクセスを行おうとする奴。彼らは多くの点で ハッカーとは違っている。しばしば悪意を持ってシステムにブレークインしてくる。）

（インターネットエンジニアリンググループ（IETF）、ネットワークワーキンググループ RFC（Request for Comments）：1392、”Internet Users ‘Glossary” より引用 。仮訳は社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター（JPNIC）より引用。
http://www.nic.ad.jp/ja/translation/rfc/1392.html
用語に関する上記解説に関する注記以下のとおり。
「このメモは、インターネットコミュニティのための情報として提供するものです。インターネットの標準を規定するものではありません。このメモは、自由 に配布してかまいません。」

なお、過去に「ハッカー」という用語が誤って理解されてきたことがあるため、悪意がないことを示すため、ハッカーのことをあえて「ホワイトハッカー」又は「エシカルハッカー」と呼ぶことがある。本研究会では、「ハッカー」という言葉を使用する場合、上述の（悪意がない）ハッカーの意味で使用する。

2. 米国におけるハッキングコンテスト(1)

■ DEFCON(デフコン)

(1)1993年より毎年ラスベガスで開催されている世界で最も有名なイベント。セキュリティの専門家、ジャーナリスト、政府関係者、ハッカー等が世界中から集まり、ハッキング関連の講演、ハッキング・コンテスト等が行われる。

(2)ハッキング関連技術を競う大会がいくつか行われている。

(注)昨年、システムのセキュリティホール発見部門で日本人(個人)が優勝

(3)その中でもCapture The Flag(CTF)と呼ばれる大会(それぞれネットワーク環境を与えられ、自チームの環境を他のチームからの攻撃から防御しつつ、他チームを攻撃する。)が有名。CTFでは、インターネット上で行われる予選を勝ち抜いた10チームが本戦に参加。

2. 米国におけるハッキングコンテスト(2)

■ 米国大学サイバーディフェンス大会

(1)米国の大学生を対象に、企業のネットワークを防御するための能力を試すことを目的に開催されている大会。

(2)産学官の発意によって2005年より開催されており、2010年大会では国土安全保障省、マイクロソフト社、ボーイング社、マカフィー社等を始めとする組織の支援を受けて開催されている。

(3)大会は米国の地域予選から始まり、予選を勝ち抜いたチームによる三日間の本戦が行われる。

(4)学生は、中小企業を想定した50名程度のユーザ、7-10台のサーバから構成される環境を与えられ、「企業内のビジネスニーズに応えながら外部から攻撃に対応する」という仮想状況における対応能力を競う。

3. 韓国等におけるハッキングコンテスト

■ Codegate（コードゲート）

（1）セキュリティに関する講演、ハッキングコンテスト、採用・求職活動を組み合わせた複合イベント。昨年はハッキング大会と講演をそれぞれ一日行った二日間にわたって行われた。

（2）2004年にハッカーの育成を目的に韓国インターネットセキュリティ庁（KISA）が開催したのをきっかけに、現在は韓国政府の知識経済部、放送通信委員会、KISA等の協力によって行われている。

（3）Codegateで行われるハッキング大会には海外からの有力チームが招聘され、成績優秀者には賞金も提供されている。

■ 欧州等におけるハッキングコンテストの例

➢ フランス（FR Hack）、ベルギー（ブルーコン）、ドイツ（カオスコンピュータコングレス）、台湾（政府の教育担当部局による学生向けコンテスト）